

第4号議案 令和7年度 事業計画(案)

1. コンセプト

(1) 宇喜田十八軒自治会は令和6年度の事業報告で実行した事業を踏襲して活動する。

この実施あたっては、役員会の実態(高齢化・人員数)等を踏まえて見直し、効率と安全化を図る。

(2) 活動全般を総じて地域コミュニティの向上を図り会員に貢献する。

2. 班長会議の実施

5月に班長会議を実施して、班長業務について説明会を開き活動の基盤を継承する。

- ① 回覧板の回覧・諸資料や情報の配布伝達と収集
- ② 会費・募金の徴収・納付
- ③ 私道防犯灯修理業務への協力
- ④ 盆踊り大会など主要行事・諸活動への参加協力

3. 会員数の維持拡大の施策

- ① 退会者が多数発生した班・地区等に対しては、新規入会も含め会長以下の役員による訪問工作を実施する。
- ② 各地区のインド人に対しては、日本文化紹介により入会促進を図る。実施に際しては、西部地区を重点に実施する。

4. 主要行事の実施

(1) 納涼盆踊り大会

7月26日・27日に開催する。昨年度の実績を教訓として、会員が楽しめる“祭り”とする。

ただし、昨年来、当自治会は高齢化に伴う人的減少で会場設営・撤収作業に支障が出ている状況である。

- (2) 宇喜田・小島地区運動会(第五葛西小於て9月28日)、春秋一斉清掃美化運動(5月25日、11月2日)、春秋の全国交通安全運動(4月6日～15日、9月21～30日)への参加

実施に際しては、各行事の趣旨を踏まえて実状に合わせた取り組みで効率化を図る。

- (3) 秋季に意見交換会を実施して自治会活動の全搬に係る会員の意見を聴き運営に反映する。

5. 年間を通じた共通の施策

(1) 会員に対する情報共有の手法

活動状況などの自治会活動に係る情報は適時下述の手法により伝達する。

・回覧板による回覧、・十八軒区民ネットワーク・掲示板での掲示・スマートフォンで江戸川区防災アプリの
宇喜田十八軒コミュニティ登録により安否を確認する。

(2) 高齢者に配慮した(活用、尊重)の活動

- ① 令和3年度にスタートした見守り活動は引き続き継続する
- ② 各行事・活動に際しては、高齢者に配慮したものとする。
- ③ くすの木十八寿会との協力連携で高齢者を対象とした見守りを継続する

6. 防災・防犯施策

(1) 防火対策の更なる具体化

- ① 自治会地域の指定避難所、第五葛西小学校、第三葛西小学校、宇喜田小学校、西葛西中学校への
調整会議に参加し、役員が避難訓練参加する。備品倉庫、マンホールトイレ設営、蓄電池などの備品
確認の共有を図る。
- ② スマートフォンで江戸川区防災アプリで宇喜田十八軒自治会コミュニティ登録により安否確認を推進する。

(2) 防犯活動の実施

高齢者を対象とした特殊詐欺の被害を防ぐために、防犯協会等の防犯情報を速やかに伝達する。

以 上